

本草圖譜

濕草部

土

本草圖譜卷之十一目錄

濕草類 二

茵陳蒿

かたふくのもぎ

一

青蒿

のぼんどん

黃花蒿

くそぼんどん

三

一種

白蒿

あざむりき

四

一種

あろよもぎ

蕭

かたふくのもぎ
三種

五

角蒿

ヘイベリキユム

一種

こまながま

六

蘆蒿

たんくわいあざみ

馬先蒿

あせり

七

一説

あまかまぎく

一種

木曾御嶽の産
二品

八

陰地蕨ゐんちけつ

ひうげりょうび

一種

春のたなりょうび

九

一種

へびのーた

一種

たなやまうり

牡蒿ぼこう

をーとよそぎこ

十

九牛草きゅうきゅう

あもかつぎ

一種

うらぎらぎく

十一

芫蔚ぎょうい

めろーき

斬蓂菜ざんさい

白花益母はくちやくも

十二

薇銜ゐゑん

さへぎく

一種

もんえんさう

十三

一種

黄花の志をん

夏枯草なつこさう

うきぐさ

十四

一種

花絞りの物

一種

白花の物

一種

朝鮮種

劉寄奴草

あそなちさう

十五

一種

白花の物

一種

細長葉の物

曲節草

やまある

十六

旋覆花

をぐるま

一種

千瓣の物

一種

筒咲の物

一種

山生の物

一種

かせんさう

一種

みづぶさう

本草圖譜卷之十一

東都

岩崎常正著

濕草類二

四十二種

茵陳蒿

かきくうようもぎ

相州馬入川武州多摩川處々水辺砂地に生ず宿根より生じ冬死せず又葉小似て細長く岐多く白毛あり夏月茎高サ三尺梢の葉ハ小茵香の葉ハ似たり茎の頭穂をかす花黃白色青蒿の花小似たり葉芳香味微辛これ時珍説ところの山茵陳あり一種茎紫紅色にて低く二尺許の葉尚細きものあり俱ハ八九月嫩苗を採て藥用ハ入ア漢土ハ家圃に栽て食料ハもを家茵陳と云ふ皆一物なり





青蒿
せいこう
のいんじん

海河水辺に生ず秋月実より生ず葉は茵陳蒿小似て白毛あり春小至て茎高サ三四尺枝を分ち穂をあるす茵陳蒿花小似て苗葉腥氣あり神麴に用るるものは之



黄^{わう}花^{くわい}蒿^{かう}

くそめんじん

海邊砂地に生す初生地小ましく葉は青蒿に似て
細く黄緑色臭氣あり茎高サ三四尺穂青蒿小似
て黄花細小なり



一種 アブシチム 羅甸 アルセム 和蘭

富山侯越中国にて初て此物を
得しなり秋月実より生す葉
ハ野菊小似て粗大根ハ小指此
大サ冬を経て夏月高サ二三尺
黄花蒿の形の如く花淡黄
色下垂す花実あれば根茎
ともに枯る花葉味も苦く
蒿の香あり阿部標齋是を
西洋のアルセムと云ふと云字
田川榕菴 アブシチムハ宿根
の物にて形も稍異れども香味
近けれハ葉用まべしと云



白蒿^{わくこう}

あきまりさう

蝦夷より来る人家に栽るものあり宿根より生ず冬凋まぐ茎高サ三尺葉艾に似て甚多細く面背共に白毛あり又茵陳葉に似たり花穂は艾に似て白色なり味微苦く艾香あり蘇頌の説は葉頗似細艾上有白毛といふ是なり



一種 志ろよもき

佐渡の海辺に生ず葉ハ鷄見腸ナメコ似く
鋸齒粗く厚くして面背皆白毛あり茎高
一尺餘穂をちひ形あききりさうふ似て粗
く大あり此もの入糞を灑けバ枯る



一 種 かまらばらこ

一名はしききくといふ水辺
砂地ふあり宿根より生す葉
ハ柳に似て厚く面背白色あ
り茎高サ二尺梢ハ小白花攢
生す形葉実ハ似たり此もの
釋名の蕭なり一種大葉の物
あり又種山々こ二名みやま
ごぎやうといふものあり野
州日光山に生す葉薄くして
両頭尖り背に白毛あり白
花なり

山々々々

大葉の物



本草圖譜 卷之十一
角蒿

ヘイベリキム
和蘭

和産ナリ 和蘭ノ

テハ小角蒿小充ギ

ルアリ 其葉蘼蒿

アサミ小似て角を結

ぶ形ナ長くて曲りあれ

ハ宗奭の説ハ結角長

二寸許微寧といふハ

符合す



一種

こほがま

一名^{ホト}ホト^キといふ実より生す茎高^サ一尺許^ハふ^ハ菊^ハ似て^小毛茸^{アリ}又漏蘆^{ヒキ}似て^方茎^対生し^紅紫^色を^帯ぶ^花淡^紅色^胡麻^花に^似たり^後角^を結^ぶ短^くて^尖れり^葉味^苦
く酸^くて^焦氣^{あり}雷^敦の^説小^紅高^角短^くといふ^是あり



蘆蒿

もんくといあきみ

又をかくるまゝといふ又野州をなぐるまゝといふ
 野州日光山武洲高尾山其外諸国山頂にあり宿根よ
 り生す葉の形小薊小似て刺なく又馬鞭草の葉
 に似て大なり苗紫紅紫色を帯ふ茎高サ三尺許
 梢に花を開く形馬先蒿マキカの如くふて紅色
 なり後短く尖りたる角を結ふ先輩よあな又ま
 つねあきみ等を充るハ非なり

